

青少年の B 型肝炎患者徐々に減 C 型肝炎も予防の重点に

新華網 news.xinhuanet.com 2015-07-28 09:31:11 来源: 新華健康

新華社ネット 7 月 28 日情報 (晏珊) 7 月 28 日は第 5 回世界肝炎デー、今年の肝炎デーのテーマは「肝炎予防、今すぐ行動を (宮本注: 原文直訳では「肝炎の攻撃にはまず予防から」、英語では「Prevent hepatitis: Act Now」です)」だ。WHO のデータでは、B 型と C 型肝炎は毎年 140 万人近い死亡者が出ており、肝臓がん死亡者総数の約 80% を占めているため、WHO は、B 型肝炎と C 型肝炎の予防管理を本年度の重点にするように各国に要求している。

これについて、北京地壇医院副院長で、B 型肝炎予防治療で著名な専門家でもある成軍教授は、新華社のインタビュー時に「肝炎に最もよくみられる病因はウイルス肝炎であり、B 型と C 型ウイルス性肝炎は急性と慢性のものがあるに限らず、肝硬変や肝細胞がんとも密接な関連があるのでこの二種類のウイルス性肝炎は臨床特に重視されているのです」と語る。

情報では、我が国は肝炎の予防治療仕事を高度に重視しており、2002 年から B 型肝炎のワクチン接種を免疫プログラムに組み込み、無償で適齢期の児童に対する予防接種をし、13 年来 2 億人の児童に B 型肝炎ワクチンを接種、その接種率は 95% 以上に達し、あつという間に接種率が 90% 以上となった。この他に、我が国では 2010 年から妊婦への B 型肝炎のスクリーニングを開始、B 型肝炎ウイルス表面抗原 (HBs 抗原) が陽性となった妊婦から生まれた新生児には B 型肝炎ワクチンを接種すると同時にグロブリンの無料接種をしてきた。2009 年からは、15 歳以下の青少年に対する B 型肝炎ワクチンの追加摂取が始まっている。

「我が国における児童の B 型肝炎ワクチン接種活動の展開に伴い、青少年の B 型肝炎患者は歳を追って減っている状況にあります。現在、入院患者は、終末期の肝臓病患者を主として、大型の肝臓病院における肝臓がん患者の比率が 4 分の 1 から 3 分の 1 に達しています。」と成軍教授は言う。

国家衛生計生委員会が今年公開したデータでは、我が国には 2800 万人の慢性 B 型肝炎患者と 456 万人の慢性 C 型肝炎患者が存在している。「肝炎患者には男性が非常に多いのです。これは、原因がはっきりしないながら事実であり、性ホルモンとの関連或は男性の喫煙や飲酒の生活習慣と関連があるのかもしれないと思います」と成軍教授は言う。

B 型肝炎 C 型肝炎の感染経路はエイズと類似

現代社会では、往々にして多くの人々が『談肝色変 (肝炎の話をする顔色が変わる)』と言われているが、肝炎に対する恐怖心がまだまだ存在している。実際には、きちんとその感染経路を理解すれば、正確に対峙することは可能だ。成軍教授は、「B 型肝炎と C 型肝炎のウイルスは消化管や呼吸器感染しないため、通常の接触では B 型や C 型肝炎の感染者と共同作業や学習をするだけでは感染することはありえないのです。」という。

情報によれば、ウイルス性肝炎は病原学上で、A 型肝炎、B 型肝炎、C 型肝炎、D 型肝炎、E 型肝炎などの 5 種類に分類される。疲労感や、食欲減退、肝機能異常が主な臨床症状とされるが、慢性肝炎患者の多くにはなかなか臨床症状が見られないという。

「B 型肝炎、C 型肝炎の感染経路とエイズの感染方式は類似しており、血液感染や母子感染、性感染が主なものとなります。A 型肝炎と E 型肝炎は、主に糞口感染が主で、水源や食物の汚染によりアウトブレイクを引き起こしますが、急性発症が多く、その予後は良好です」と成軍教授は語る。

ワクチンは一生ものではない C 型肝炎は B 型肝炎よりも高治癒率

それでは、B 型肝炎と C 型肝炎は治癒できるのか? 成軍教授は言う: 「C 型肝炎の約 80% は治療可能です、B 型肝炎は治癒可能ながら、現時点での治癒率は極めて低いのです。」成軍教授は、「B 型肝炎は治癒率こそ低いものの予防が可能です。B 型肝炎ワクチンは、免疫の保護期間は、18 年から 20 年間という長期にわたります。もし、自分の体に B 型肝炎抗体の有無を判断したければ、血清中の HBsAb (B 型肝炎表面抗体: HBs 抗体)」力価を調べればよいだけです。10mIU/MI 以上なら B 型肝炎ウイルスに対する免疫があり、もし、10mIU/MI 以下であれば状況に応じて追加免疫接種をすることができ、とてもよい効果が得られます。子供は生まれてからできるだけ早く (最もよいのは 24 時間以内) に B 型肝炎ワクチンの接種をすることが必要です。」と成軍教授は協調する。

透析患者のように常々輸血や血液製剤を必要とする人たちについて、成軍教授は、**B**型肝炎ウイルスへの感染を予防するためにも**B**型肝炎ワクチンの接種をすべきだという。

C型肝炎予防のためのワクチンは、今はないが、慢性**C**型肝炎への抗ウイルス治療は効果がある。成軍教授の話によれば、現時点で我が国は、既に多くの内服型の直接作用型抗ウイルス剤（**DAA: Direct-acting Antiviral Agents**）が登録されその臨床研究が進められているが、遠くない将来にこれらの薬物が慢性**C**型肝炎治療においてインターフェロンにとって代わり、主な治療薬、主な治療方法となるだろう。

この他、成軍教授は、「**B**型肝炎ウイルスは徹底的な駆除が大変難しく、慢性**B**型肝炎の治療は長期にわたるものとなり、患者さんは長期にわたって薬の服用をせねばならない中、自分で薬の服用をやめてしまうことでウイルス抵抗性やリバウンド、再発を引き起こし、悪くすると肝硬変になってしまうので」と強調する。

WHO：肝炎予防の三つの提案

本年度の肝炎デーのテーマは「まず予防から」ということを強調しているが、これにより、**WHO**は三つの提案をしている：

- 一、安全な注射器を使用し、注射による手段を極力減らし、内服薬使用に切り替えること。
- 二、ワクチン接種を強化して予防力を強化し、新生児は産後**24**時間以内に**B**型肝炎ワクチンを接種すること。
- 三、感染の危険性が高いハイリスクグループには検査を強化し速やかに治療すること。

この他、成軍教授は、ウイルス性肝炎患者、特に慢性**B**型肝炎や**C**型肝炎患者は、正規の医院で、**6～12**か月ごとに定期的な検査や治療を受けることと病状進行に応じた治療の規範化を提案している。

「慢性の**B**型肝炎と**C**型肝炎患者の抗ウイルス治療がキーとなります。患者は、抗ウイルス製剤治療の必要性や治療計画や治療効果、副反応、更にその予防と軽減方法を詳細に理解し、積極的に医師の治療進行に協力することが必要です。」

http://news.xinhuanet.com/health/2015-07/28/c_128066823.htm

..... 以下は中国語原文

青少年乙肝患者逐年递减 丙肝也成防控重点

新华网 news.xinhuanet.com 2015-07-28 09:31:11 来源：新华健康

新华网7月28日消息（晏珊）7月28日是第五个世界肝炎日，今年肝炎日的主题是“抗击肝炎，预防先行”。据世界卫生组织统计的数据，乙型和丙型肝炎每年造成将近140万人死亡，占肝癌死亡总人数的大约80%，因此今年世卫组织要求各国重点防控乙型和丙型肝炎。

对此，著名乙肝防治专家、北京地坛医院副院长成军教授在接受新华网采访时表示，“肝炎最常见的病因是病毒感染，乙型和丙型病毒性肝炎不仅有急性和慢性病毒性肝炎，而且与肝硬化、肝细胞癌密切相关。因此，这两种病毒性肝炎在临床上格外受到重视。”

据悉，我国高度重视肝炎防治工作，从2002年开始将乙肝疫苗纳入免疫规划，免费为适龄儿童接种乙肝疫苗，13年来主动为2亿儿童接种乙肝疫苗，接种率达到95%以上，及时接种率90%以上。此外，我国从2010年开始对孕妇进行乙肝血清筛查，对表面抗原阳性孕妇所生新生儿在接种乙肝疫苗的同时，免费接种免疫球蛋白。2009年开始，15岁以下的青少年均补种了乙肝疫苗。

“随着我国儿童乙肝疫苗接种工作的开展，青少年乙肝患者呈逐年递减的趋势。目前住院患者以终末期的肝病患者为主，在大型肝病医院肝癌患者的比例可高达四分之一到三分之一。”成军说。

据国家卫生计生委今年公布的数据，我国目前仍有2800万慢性乙肝患者和约456万慢性丙肝患者。“肝炎患者以男性居多。”成军说：“这是个事实，其原因一直不十分清楚，可能与性激素有关，或者与生活习惯有关，比如男性嗜酒烟等。”

乙肝、丙肝的传播途径类似艾滋病

当今社会，很多人往往“谈肝色变”，对肝炎还是有恐惧心理，实际上真正了解它们的传播途径后完全可以正确对待。成军说，“乙肝和丙肝病毒不会通过消化道和呼吸道传播，日常接触不会传播乙肝和丙肝病毒，与乙肝和丙肝感染者共同工作、学习是不会感染的。”

据介绍，病毒性肝炎从病原学可以分成甲肝、乙肝、丙肝、丁肝、戊肝等五种类型。以疲乏、食欲减退、肝功能异常为主要临床表现，但很多慢性肝炎患者常常没有临床症状。

“乙肝、丙肝的传播途径和艾滋病的传播方式类似，主要通过血液、母婴和性传播。甲肝和戊肝主要经粪口途径传播，水源或食物被污染可引起暴发流行，但多为急性发病，预后良好”。成军说。

疫苗非终身制 丙肝治愈率远高于乙肝

那么乙肝和丙肝是可以治愈的吗？成军表示：“约 80%的丙型肝炎可以治愈，乙型肝炎虽可治愈，但目前比率偏低。”成军强调：“乙肝虽然治愈率低，但可以预防。乙肝疫苗长期免疫保护可达 18 年至 20 年。若是想判断身体中是否有乙肝抗体，只要检查血清中 HBsAb 滴度，在 10 mIU/ml 以上就说明对乙肝病毒有免疫力，若在 10 mIU/ml 以下，可以根据情况进行加强免疫接种，也能取得很好的防范效果，因此儿童在出生后（最好在 24 小时内）应尽快接种乙肝疫苗。”

而对于那些经常需要输血或输注血液制品者，比如需要透析的患者，成军建议也应进行乙肝疫苗的接种，以预防乙肝病毒感染。

虽然丙型肝炎的预防目前没有疫苗，但是慢性丙型肝炎的抗病毒治疗效果不错。而据成军介绍，目前我国已经进行多项口服的直接抗病毒药物（DAA）注册临床研究，相信不久的将来，这些药物对于慢性丙型肝炎的治疗，将取代干扰素，成为主要的治疗药物和治疗策略。

另外，成军强调：“乙肝病毒很难被彻底根除，因此慢性乙肝的治疗是一个长期的过程，患者需要长期坚持用药，自行停药可能会引起病毒耐药、反弹或复发，严重可致肝硬化。”

世卫组织：三个建议防范肝炎

今年肝炎日的主题强调“预防先行”，因此，世界卫生组织提出三条建议：一是务必使用安全的注射器，尽可能少使用注射手段而改用口服药物。二是通过接种疫苗加强预防，新生儿最好在出生后 24 小时内接种乙肝疫苗；三是高风险感染人群应加强检查，及时治疗。

此外，成军建议对于病毒性肝炎患者则需到正规医院检查、治疗，尤其是慢性乙肝和丙肝患者，应每 6-12 个月定期检查，根据病情进行规范化治疗。

“慢性乙肝和丙肝患者的抗病毒治疗是关键，患者应详细了解抗病毒治疗的必要性、疗程和疗效、不良反应及其预防和减轻的方法，积极配合医生进行治疗。”